

盛岡名物

舟っこ流し 花火大会

盛岡市指定無形民俗文化財

平成
26年

8月16日 土

岩手県盛岡市仙北1丁目
明治橋兩岸

※8.16が中止の場合、8.17に順延。
※8.17が中止の場合、8.23に順延(ホームページに掲載)

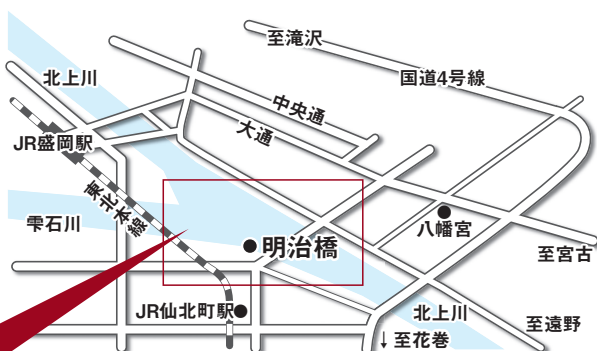
◎交通アクセス

※駐車場はありませんので公共交通をご利用ください ※会場は仮設トイレを設置
※堤防が階段状になっておりますので観覧できますが、席に限りがあります。

バス 盛岡駅前13番乗り場から乗車、会場そばの仙北町バス停下車(所要15分～)

JR東日本 仙北町駅から徒歩7分(540m)

写真: 中川三郎(東京都)



お問い合わせ先

盛岡舟っこ流し協賛会 電話: 070-5621-6210
<http://moriokafunekkonagashi.com/>

主催/盛岡舟っこ流し協賛会
協賛/盛岡市 公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

舟っこ集合	16:00
法 要	16:30～17:30
流 舟	17:30～18:30
灯籠流し 明治橋上流右岸(仙北町側)	18:30～19:30
投げ松明	18:30～19:00
花火大会 (3,000発)	19:00～19:40

《舟っこ流し》

町内会が中心となって子供会なども協力して舟を作ります。舟は竜の形をしているものが多いです。お札や遺影を貼り、提灯や供物などで飾りたてます。舟は明治橋上流に集められ、儀式のあと有志がひいて一艘ずつ川へ流され、火をつけます。燃えながら流れる舟は明治橋で燃えつきます。

舟っこ流しの始まりは、今からおよそ280年ほど前、盛岡藩四代藩主、南部行信の七女 麻久子姫が川施餓鬼(かわせがき)の大法事を行ったものとされています。1815年に津志田遊郭の遊女たちが乗った舟が氾濫した北上川で転覆し、溺れ死んだ霊を慰めるため、舟に位牌と供物を乗せて流すようになり、以後盛んに行われるようになりました。

今では祖先の霊を送り、無病息災を祈る行事となっています。



投げ松明



1 鉈屋町町内会
大慈寺山門脇



4 仙北三丁目町内会
仙北三丁目公民館



5 仙睦流舟会
盛岡信用金庫仙北町支店横



2 南仙北二・三丁目町内会
小鷹公民館



3 駒形自治会
駒形公民館



6 松尾町町内会
盛岡畜産会館脇



7 仙北二丁目自治会
曹洞宗長松寺境内



8 南大通三丁目町内会
浄土宗円光寺境内



9 青物町町内会
仙北一丁目(線路を挟んで駒形神社)



10 南大通二丁目
臨済宗長松院境内



11 立正佼成会
立正佼成会内



12 南仙北一丁目町内会
昭和モータース



13 東仙北流舟会
東仙北一丁目公民館

平成26年度 盛岡舟っこ流し実施順序表

製作・展示場所

盛岡舟っこ流し 第3回写真コンテスト

《作品募集》 盛岡舟っこ流し協賛会では「盛岡舟っこ流し写真コンテスト」の作品を募集します。盛岡舟っこ流しを題材として、祭りを広く紹介出来るものとし、応募作品は舟っこ流しポスターや観光宣伝に活用いたします。

《募集要項》 【締切】2014(平成26)年9月19日

【規格】カラープリント4つ切りを原則としますなお、他の規格にも応じます

【内容】2014(平成26)年盛岡舟っこ流しで実施された行事

《受賞》 金賞・銀賞・佳作(いずれも若干)。副賞として賞状および粗品を進呈。なお、ポスターや冊子等に活用させていただく際には撮影者名を記載(紹介)いたします

《審査の方法》 盛岡舟っこ流し協賛会、流舟各団体関係者、協賛団体で行います

《発表》 2014(平成26)年10月中旬をめぐにホームページ上で掲載します

《その他》 市内各地でのパネル展示会や仙北地区文化祭で紹介いたします

《応募先》 〒020-0863 岩手県盛岡市南仙北3丁目7-15 盛岡舟っこ流し協賛会 写真コンテスト 係 まで

《注意事項》 ① 応募作品は未発表のものに限ります ② 応募者および枚数に制限はありません ③ 入賞作品はネガの提供をいただくことがあります ④ 応募作品は返却しませんのでご理解願います ⑤ コンテスト発表の著作権は当会に属します